



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第195号:R1.5.9五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.7

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います。



「米の専門、わくわく農場さん vol.7」

長いゴールデンウィーク中、各地でたくさんのイベントがあり、ようやく平常に戻ってきました。この期間中農家さんは大忙し！ そう、田植えです！ 五泉市の広い田園にトラクターが点々と見えます。遠目で見ているとのどかな風景。

早速、わくわく農場さんを訪ねました。

育苗箱に育った苗。

隙間なく真っ白な根を張り背丈も10cm以上。

しっかり青々と育っていました。

日々刻々と変化する気候に対応するため神経を使い、

1ハウスごともしっかり管理され、

ようやく田植え時が来ました。

田植え機を間近で見るとは初めてなので興味津々。

あまりの機能の多さにびっくりしました。

- ・肥料をまきます

- ・苗を植えます

- ・次の田植えの列の印をつけるので曲がりません

- ・積んだ苗が少なくなるとお知らせしてくれます

田植えは、苗を積んだ荷台の部分が左右に動き、順番に適量の苗をつまみとり、8列同時に植えます。

運転手はハンドル操作と確認作業。

田植え機は頼もしい相棒です。

2反までない田んぼは30分位で完了しました。

そして次の田んぼへ。

田植えが終わればお休みできるそうです。

数日は晴れが続くので安心かな。

仰ぎ見た五泉市の山々と現場のみなさんのことを思うと、

ご飯の一粒一粒が一層おいしく感じられます。

ありがとうございます！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —



第196号:R1.5.12

五泉の良いことつたえ隊 山田×青木です。

「わんぱく相撲！」

わんぱく相撲が開催されました。

【わんぱく相撲とは】...地区予選大会で勝ち上がった小学4~6年生が、東京・国技館で決勝大会を行う晴れの舞台。

今日は地区予選大会ということで、主催者の五泉市青年会議所のお手伝いをしてきました！

試合が始まると会場がどよめき、熱気に包まれました。試合を終えて喜ぶ顔に、悔し涙の表情。土俵の外でも励ましあう選手の姿も見られました。みんな立派な力士さんでした。





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第198号:R1.5.20五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.8

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います

「さといも“帛乙女”を育てる川口さん」



昨日の雨はいかったね～。
ネギが焼けるかと思ったけど丁度良かった。
圃場も水溜まってね～し。
農家のお父さん方、日々の天気敏感です。

今日はさといもの“めーみ”の作業。

“めーみ”って何ですか？

行けばわかるっけ(^▽^)

はい！

向かったところは

今年の「さといもまつり」の会場となる畑。

さといもの芽が出ています！小さくかわいい芽。

よ～く見るとマルチ（ビニール）から出れない芽が。
苦しそう～。

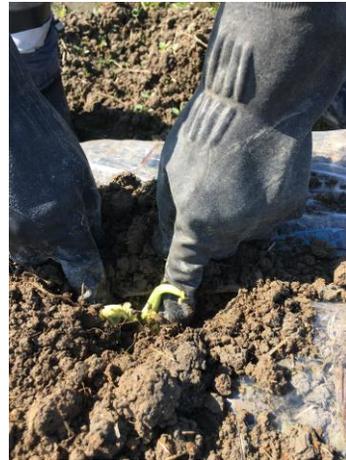
このまま放置すると腐ってしまうそうです。

それを救出するのが“めーみ”の作業。

マルチを破り芽を出して、土をかけ直します。

種いもは機械で植えましたが、

“めーみ”の作業はしっかり目で確認して手作業の世界。



盛られた土がほら、割れてるでしょ。

この下に芽があるからよ～く見て。

ん??割れている、全部割れて見える土。

でも掘ってみても芽が出ていない。

やはり農家さんの長年の勘というものに感心します。

この作業は、畑のさといもの芽がぜ～んぶマルチから

顔を出すまで。6月半ばくらいまで見回り管理です！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第200号:R1.5.21五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.9

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います。



「れんこん“五泉美人”を育てる 土田さん」

色白でシャキッとした歯ごたえが癖になる

五泉市のれんこん。

11月に行われる農業まつりでも大人気の特産物です。

1年中スーパーで販売されているので、

いつが旬なのか？など

お話を伺うと知らなかったことがたくさん！

五泉蓮根生産組合の組合長、

土田さんから溢れ出るれんこん知識で

私の脳はもはやパンパンに。

収穫まで少しずつお伝えします。



植え付けは4月から5月中旬に行われます。

種れんこんを専用の**れんこん田**から掘り出します。

芽が折れないように丁寧に。

寒さにも弱いし暖かくなりすぎると芽が伸び

折れやすくなるので時期がきたら作業に集中！

5節位のは半分に切ります。

れんこん田の深さ膝下位。

やさしく置きゆっくりもぐして植え込みます。

れんこんの成長過程、、、

まず、食べる場所を地下茎といいます。

節にある髭が根っこ。

先端(頭)の方から芽が生え、新たな節を形成します。

大きい地下茎が親れんこんで

写真の右から、およそ1週間で1節ずつ形成され

4～6節位まで成長するそうです。

ちなみに、どんなに細いところを切っても

穴は9つ。なんだか不思議ですね。

地上では7月下旬には葉っぱが出そろい**白い花**を咲かせます。

泥の中では葉っぱが作りだす養分で節を増やし、

太ろうとしていく地下茎。 成長が楽しみです！



れんこん田に
移る空がきれいです！



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第201号:R1.5.22五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.10
農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思ひます



「ネギを育てる川口さん」

ネギの畑に集合！
記憶を辿りつつ畑へ向かう道のり。
たしかあの辺???
農作業をしている方に尋ねるしかない
車を降りて近づくと、ニコニコ顔の川口さん。ホッ・・・。
ネギを植えた頃の風景とは全体が違って見えました。
スカスカの広がった畑に彩りがあります。
ネギもネギらしく、まだ小さいながらも成長しています。
背丈は土から20cmくらい。
今回は、草刈とネギへ土寄せの作業です。
ナント！ネギの根っこは上に向かって伸びるそう。
そのため鍬を使いネギの生え際ギリギリまで
土をこぼすようにして土寄せします。
と同時に雑草があれば鍬でかき、土に混ぜ込みます。
両サイドの畝は土を高く盛り、ネギを低い位置に植えるのは
そのためなんだそう。なるほど～。
川口さんは滑らかに鍬をさばき進んでいきます。
さ～さ～さ～っと。
畝を撫でているようにしか見えません。
鍬をもう一本用意してくださっていました。では、私も。
さらさら～っとはいかず、ズズツ、ズズツ。
ネギに危険が・・・。
あ～土掛け過ぎだわ。土に負けてるな～。（笑）
振り向くと畝はボコボコ。
簡単じゃないですね。
黒光りしている川口さんは余裕の笑顔。
7月上旬には短めのネギを出荷予定です。





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第202号:R1.5.23五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.11

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います。



「いちご“越後姫”を育てる 権平さん①」

いちご“越後姫”は柔らかくてジューシー。

あま〜い香りと濃厚な味。

一粒の満足度がとても高く、ファンが多いです。

今は旬の真っただ中！

農協の倉庫内は越後姫の香りが充満しています。

農家のお母さんに、い〜香りだね〜、酔ってしまいそう。

と、共感を求めてみたところ、

もう慣れたっけわかんね（笑）

木越苺出荷組合の組合長権平さんによると

24軒位のいちご農家さんが生産していて

出荷は6月半ばまで続くそう。

箱詰めされた越後姫が次々に運び込まれてきます。

農協の倉庫はいい情報交換の場にもなっていました。

この日は猛暑とまではいかずとも、あっつい日でした。

農作業の疲れも見せず、和気あいあいと和む皆さん。

越後姫が出揃うと、農家さんと農協さんが共同で

荷造りを始めました。整然と積み上げられた箱。

次は市場へ、そして販売店などへ。

行ってらっしゃ〜い！

手に取った方の笑顔が浮かんできます(^◇^)

いい仕事だな〜





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第202号:R1.5.23五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.11

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います。



「いちご“越後姫”を育てる 権平さん②」

組合長の権平さんにハウスの中を見せてもらいました。
わっさわっさと緑の濃い葉っぱが目に入りました。
下に垂れるようにして越後姫がぶら下がっています。

高設栽培というそうです。

ミツバチも働いています！

人間のことは全く気にせず花から花へと。

なかなかカメラのシャッターが切れない。

木越地区のいちご栽培は**県内では古い産地**です。

以前は宝交早生という品種を栽培していました。

現在は越後姫に特化し**23年以上**経つそうです。

果肉が柔らかく繊細なため出荷は**ほぼ県内限定**です。

早朝から昼にかけて収穫し、パック詰めまで手作業。

大きさを見て重量を測り、形や色を判別します。

夕方までに農協へ持ち込むためお母さん頑張ってます！

違うハウスへ案内されました。

さっきよりもっと高い位置にプランターが。

空中採苗といいます。

来年収穫する越後姫の親の苗。

元気な苗を作るため花は摘み取ります。

7月になるとランナー（つる）がぐんぐん伸びます。

ランナー1本から4つ位の苗が採れるそう。

いちごは地面に這いたいかしんねけど、

この方が風通しもいいし病気になりにくいんだわ。

7月にランナーを切り分けてセルトレイ（育苗ポット）に

仮植するそうです。

7月どこまで伸びているのか楽しみです！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第204号:R1.5.30 五泉の良いことつたえ隊 青木です。



能代川サケ・マス増殖組合さん取材しました。

「能代川 生き物と自然環境を守る」

日曜日早朝、能代川水辺公園の草刈りです。
この日は**24人の組合員**さんが草刈り機持参で集合。
吉井組合長の号令のもと作業が開始されました。
ガーッ！ガーッ！と草刈り機の音が響き渡ります。
能代川は通称「**九十九曲川**」ともいわれるほどくねくねと蛇行する川で、過去度々氾濫してきました。
五泉市**西四ツ屋地内**にある「能代川水辺公園」「**楽新保広場**」
「**サケの路**」は、**H12年7月の梅雨前線集中豪雨**で能代川が氾濫し、周辺住民へ浸水被害をもたらしたことがきっかけで、災害復旧の緊急事業が立ち上がり、**自然に優しく調和した川づくり、人々が楽しめる川づくり**を目指し、整備されたところです。
魚に優しい構造で、階段も護岸も自然に負担がかからないよう全て手作りされました。
能代川サケ・マス増殖組合の皆さんは、**サケ等の生き物が残っていられるよう、自然環境が保たれるように**、公園の整備やサケの人工増殖・放流をしたり、小学校でのサケの総合学習へ参加、さけ祭りの開催など色々な形で**啓蒙活動**をしています。
1時間位でほぼ公園内の草刈りが終わりスッキリしました！
サケを捕獲するための水路「サケの路」へ誘導するためのウライも外して作業完了！
能代川水辺公園は、途切れなく流れる川の音がとても心地よいです。
階段や土手に座ってボーっと過ごす時間も、たまには良いと思います。

